

国際子ども図書館 講演会（11月16日）開催のお知らせ

# いま、フランスの子どもの本は？

シリーズ・いま、世界の子どもの本は？（第7回）

国立国会図書館国際子ども図書館では、一般社団法人日本ペンクラブとの共催で、世界各国の児童書に関するイベントを「シリーズ・いま、世界の子どもの本は？」と題して開催しています。シリーズ第7回は、「いま、フランスの子どもの本は？」として、11月16日（土）に、フランスの子どもの本の現在と、その魅力をご紹介します講演会を開催します。

## いま、フランスの子どもの本は？

### 開催概要

- 主催** 国立国会図書館国際子ども図書館・一般社団法人日本ペンクラブ  
**講師** コリーヌ・カンタン氏（フランス著作権事務所代表取締役）  
河野万里子氏（翻訳家、上智大学非常勤講師）  
**司会** 森絵都氏（日本ペンクラブ「子どもの本」委員会委員長）  
**日時** 2013年11月16日（土）14時～16時  
**会場** 国際子ども図書館 3階ホール  
（東京都台東区上野公園12-49）  
**対象** 中学生以上（定員100名）  
**参加費** 無料  
※参加には事前のお申し込みが必要です（11月1日締切）。  
申込方法は次のページをご覧ください。



一般社団法人日本ペンクラブ・国立国会図書館国際子ども図書館共催



**【講師略歴】****・ コリーヌ・カンタン**

(c) Naoya Hatakeyama

フランス著作権事務所代表取締役。主な絵本の翻訳に、佐野洋子『100万回生きたねこ』、酒井駒子『ぼく、おかあさんのこと…』など。東日本大震災後の日本人の生の声を伝えるべく、大江健三郎、姜尚中、角田光代、谷川俊太郎ら26名の作家の作品を翻訳・編集した『震災の列島』をフランスで出版。長年フランスの出版文化を日本に紹介してきた功績が認められ、2010年、フランス文化省からフランス芸術文化勲章シュヴァリエを受賞。

**・ 河野万里子 (こうの まりこ)**

翻訳家。上智大学非常勤講師。主な訳書にドナ・ウィリアムズ『自閉症だったわたしへ』シリーズ(新潮社)、ルイス・セプルベダ『カモメに飛ぶことを教えた猫』(白水社)、サン=テグジュペリ『星の王子さま』(新訳)(新潮社)など。絵本の翻訳に、カール・ノラック/クロード・K.デュボワ『だいすきっていいたくて』シリーズ(ポルプ出版)、ジェーン・レイ『リンゴのたねをまいたおひめさま』(徳間書店)、ヴィクトル・ユゴー原作/リュック・ルフォール再話『レ・ミゼラブル—ファンティーンとコゼット—』(小峰書店)など多数。

**【申込方法】**

定員 100 名 (申込が定員を超えた場合は抽選)

「お名前、年齢、ご住所、電話番号」をご記入の上、下記の方法でお申し込みください。1 通につき、1 名の応募をお願いします。

**[往復はがき]**

返信用はがきの宛名面に、宛先の郵便番号・住所・お名前を必ずご記入ください。

宛先： 〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

国際子ども図書館「11月16日講演会」係

締切： 2013年11月1日(金) 必着

11月5日以降、抽選の結果を返信はがきでお知らせします。

**[電子メール]**

タイトル(件名)を「11月16日講演会申込み」としてください。

宛先メールアドレス： koen1116@kodomo.go.jp

締切： 2013年11月1日(金) 17時

11月5日以降、抽選の結果を電子メールでお知らせします。

\* 詳細については、国際子ども図書館ホームページもご参照ください。

<http://www.kodomo.go.jp/event/event/event2013-12.html>